

2013.7
No. 25



佐賀大学病院ニュース

患者・医師に選ばれる病院を目指して

News & View

〒849-8501 佐賀市鍋島五丁目1番1号

TEL 0952-31-6511(代)

病院ホームページ <http://www.hospital.med.saga-u.ac.jp/>

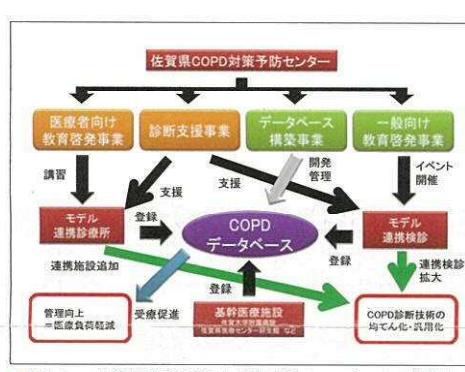
COPDの診断に呼吸機能検査は不可欠ですが、患者さんから最大限の力を引き出すために、実施者の習熟が必要です。このために呼吸機能検査の実施に二の足を踏んでしまった医療施設が多いのです。この状況を克服するために、私達は佐賀県の補助を受け、COPD対策予防センターを設立し、県内20カ所のモデル診療所に検査技師を派遣し、COPD患者診断を行う事業を開始しました(図1)。また、この様にして発見された患者さんがCOPD治療の核となる吸入療法と呼吸器リハビリテーションを適切に受けることができるよう、病薬処方体制、病病診連携体制の整備にもCOPD対策

慢性閉塞性肺疾患(COPD)は高血圧や糖尿病などと同様に、徐々に全身をむしばむ疾患です。早期からの対策が最も重要なと考えられていますが、医療側の取り組みは立ち後れています。国内での罹病患者数は600万人に及ぶことが明らかにされていますが、医療機関で管理を受けている患者は30万人程度に限られています。この落差の背景にはCOPD特有の問題として、呼吸機能検査の難しさがあります。

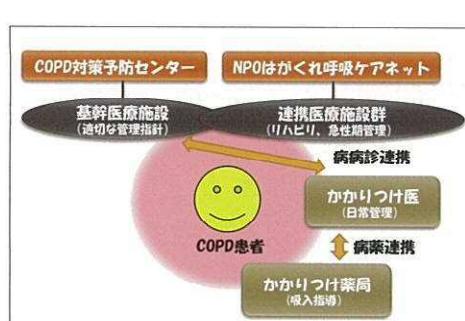
COPD地域診療体制整備事業の取り組みについて

- ・第1相..健常な方を対象に薬の安全性や体内での薬の吸収や排泄を調べる相
 - ・第2相..患者さんを対象に薬の有効性、安全性並びに薬の最適な使用量を調べる相
 - ・第3相..より多くの患者さんで薬の有効性、安全性等を改めて確認する相

大学病院に課せられた大きな使命の一つに、患者さんに、より良い新薬をより早く提供することや、これまでの治療法に改善を加えて、より有効でより安全な医療を提供することがあります。当院では、これらの使命を負い院内スタッフが一丸となり、さまざまな分野の研究に、日々、取り組んでいます。



▲図1 佐賀県COPD対策基盤センターの役割



▲図2 COPD 診療における医療連携体制の構築



▲ 檢證における呼吸機能測定器具

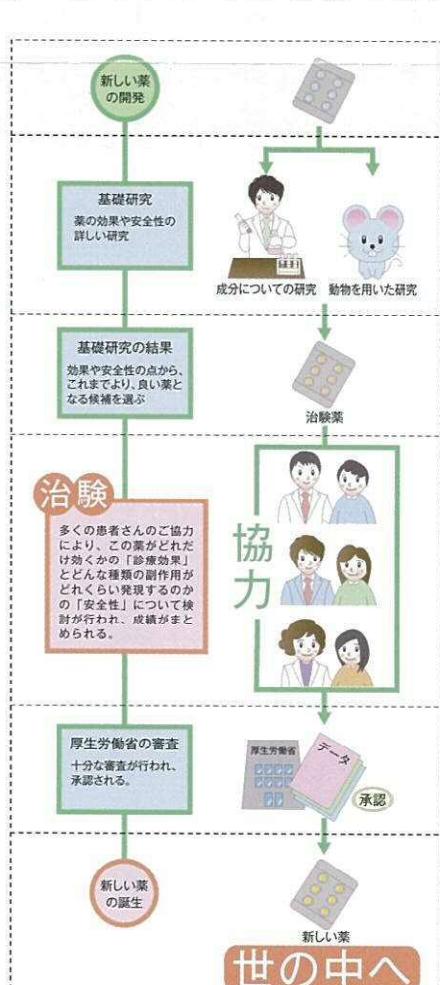
予防センターは携わっています(図2)。呼吸器ハビリテーション部門の充実の為には専門的な知識、技量の蓄積が必要ですので、対策予防センターの役目を補完するためには専門家集団特定非営利法人(NPO)はがくれ呼吸ケアネットを立ち上げ、地域における連携の強化に取り組んでいます。昨年度はCOPD対策予防センターとして、

回を超える医療・介護者向け講習会、10回の地域住民向け講習会、2回の検診支援活動を行うとともに、400名あまりの患者さんの登録を行うことができました。今年は、佐賀県からの補助金の是終年を迎えて、さらに大きく躍進し、2000名以上の登録をめざしています。皆様どうかご協力のほどお願いいたします。

呼吸サポート班
林 真一郎

環境の質の向上を目指し、このデジタルサイネージを充実したものにしていきたいと思います。

- ・外来ロビーエレベーター横
 - ・病棟エレベーターホール1階
 - ・ドトールコーヒー内
 - ・放射線部受付前の廊下
 - ・縦型デジタルサイネージ
 - ・外来ロビー3番計算受付前
 - ・外来ロビー大型テレビ左横



にご覧いただき、少しでも治験や臨床研究に関する理解を深めていただければ幸いです。
[\(http://www.hospital.med.saga-u.ac.jp/chiken/\)](http://www.hospital.med.saga-u.ac.jp/chiken/)

最後に、臨床試験や研究は、患者さんのご協力を
くして実施することは出来ません。

今、あなたが服用されているお薬の一つ一つを
過去の患者さんの協力により開発されたものです。
未来に、より良い薬を残すためにも臨床試験や研
究への患者さんのご協力をお願い申し上げます。

治験センター
田崎
正信

田崎
正信

デジタルサイネージの導入

街角で大型モニターに映し出される広告やイメージ映像に目を奪われ立ち止まって見入ってしまった経験がありませんか？これが今回皆さにご紹介する『デジタルサイネージ』というものです。聞き慣れない言葉に顔をしかめてしまう方もいらっしゃるかもしれません、日本語では「電子看板」と呼ばれるもので、ポスターや案内表示を大型のモニターに映し出すものです。このシステムの最大の良いところは、デジタル技術を活用することで伝えたい情報を様々な形式（動画・ポップアップ・画面スクロール等）で表示できるので、病院された方々に難しい話題などについてもわかりやすく情報提供できることです。

現在は後述の設置場所で「病院かこのお知らせ」をはじめ、「病院再整備計画」・「手術支援ロボットダヴィンチ」を用いた手術や人工股関節置換術等の先端医療のイメージ動画・「希望の声」・「サガン鳥栖最新情報」等を表していますので、お待ちになつていて間などに是非一度ご覧ください。

今後もさらなるサービス向上・院内環境の質の向上を目指し、このデジタルサイネージを充実したものにしていきたいと思います。

